

第1回根室市子ども・子育て会議記録

- 1 開催日時 平成26年1月16日(木) 午後1時30分～3時00分
- 2 場 所 根室市総合文化会館 2階 会議室
- 3 出席者 [委員]
宇井委員、遠藤委員、狩野委員、木根委員、塩原委員、下茂委員、蜷川委員、
濱田委員、濱屋委員、平賀委員、三ツ木委員、山谷委員
(欠席 腰委員、佐藤委員、柴田委員)
[市側]
石垣副市長、高橋市民福祉部長、我妻社会福祉課長、中谷社会教育課長、
齋藤子育て支援主査、品堀まつもと保育所長、桑田社会教育主査、清水田主任
- 4 概 要 副市長より委員に委嘱状交付

- ・議事(1) 会長、副会長選任

事務局より山谷委員を会長、宇井委員を副会長に推薦案を提示し、出席委員より承認を得て、山谷委員が会長となり、宇井委員が副会長となる。

- ・議事(2) 説明事項(進行: 山谷会長)

①根室市子ども・子育て会議について

②(仮称)根室市子ども・子育て支援事業計画について

議事(2)の①から②については、齋藤子育て支援主査が
資料1、資料2に基づき説明

③今後の予定について

齋藤子育て支援主査が資料3、資料4に基づき説明

(質疑応答等)

(委員) ニーズ調査の量が多いので、回収率を上げるのが問題だと思う。
ニーズ調査を配布した後に保育所や小学校でチラシを配布して
ニーズ調査の提出を呼びかけた方が望ましい。

事務局 参考にさせていただきます。ニーズ調査は、保育所から配布を
して回収率を上げようと考えています。

(委員) 子ども・子育て支援事業計画は、小学生がメインとなるのか。
また、子育てという定義は、どこまでの範囲なのか。

事務局 子育ての定義については、18歳までという定義はありますが、
子ども・子育て支援事業計画の内容は、就学前児童がメインに
なります。また、放課後児童健全育成事業の受入れの関係もありますので小学生児童も関連します。

(委員) ニーズ調査は、資料の様式の各項目で調査されるのか。

事務局 ニーズ調査については、国から示された様式を根室市用アレンジして作成しています。

事務局 ニーズ調査で放課後の過ごし方の項目で図書館、公園などとなっているが、放課後デイサービスに通う児童がいる場合は、記入に困ると思うので修正できるのであれば、修正をお願いしたい。

事務局 この部分は、修正して差し替えします。

事務局 関連してですが、資料4の6放課後教室の項目を花咲、せいおう、北斗と記入すれば、わかりやすいと思う。

事務局 資料4の6放課後教室の項目を花咲、成央、北斗と修正します。また、資料4、8の放課後教室についても同様に修正して配布いたします。

事務局 資料2の子ども・子育て支援事業計画の中で特別な支援が必要な子どもの受入れ体制についてとあるが、根室市の保育所でも、そのような支援をする体制を整えていくという考え方なのか。

事務局 特別な支援が必要な子どもについてであります。これは、障害児の受入れについてであります。根室市の保育所では現在、障害児保育を受けております。ただ、医療的に問題がある場合は、医師との協議が必要ですが、人為的に対応できる場合は、受入対応を行っています。

④その他 (質疑応答等)

事務局 根室市としての子ども子育て支援事業計画についてであります。現在、策定中であります平成27年度からの根室市総合計画が、市がおこなう計画の最上位計画として、その中に位置づけて担保を持っておこないたいと考えています。山谷会長が先ほどご質問されました障害児の施設の整備の在り方など、議論して総合計画の中に子ども子育て支援事業計画を位置づけて進めたいと考えております。

(委員) この子ども子育て支援事業計画は、保育所、幼稚園、放課後児童健全育成事業についても含めた計画なのか。

事務局 そうなります。

(委員) 今後、ニーズ調査を実施して、ニーズ調査の結果を踏まえて、この子ども・子育て会議を開催して、根室市の子ども・子育て支援事業計画をどのように進めていくのかということ次回から論議が始まっていきます。その中で、この会議がどのような意図があるのかを委員一人一人が持っていないと、ニーズ調査の結果を分析していくのは、難しいと思うので、質問や疑問等あれば、この場で発言をお願いしたい。

(委員) このニーズ調査は、子どもを持つ世帯しかしなくてもよいのか。子どもが、小学生、幼稚園、保育所という世帯は、全て調査がいくのか。委員として何かしなくてもよいのか。

事務局 ニーズ調査については、そうなります。委員さんには、ニーズ調査の集計結果を基に意見を伺うこととなります。その後、子ども・子育て支援事業計画の素案が出来上がったときにも意見を伺うこととなります。またニーズ調査の話になりましたので、ニーズ調査については、保育所に通う児童分については、保育所から配布し、それ以外については直接市からの郵送となります。

(委員) 子育ては非常に重要だと思う。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。子育て支援事業計画、子ども・子育て会議を作るにあたっての意義については、国の子育て支援法に基づいています。ただし、国の方向性については、待機児童の解消となっています。待機児童の解消に向けて計画を作成することとなりますが、根室市においては、現在、待機児童が発生していない状況にあります。地域独自の子育て支援の在り方や、施設整備がなかなか進まない中での出来ることが、根室市の計画の大きな柱になると考えています。委員の皆様には、それぞれのお立場や今までの子育て経験を生かして率直な意見を聞かせていただくことが、この会議の目的だと思っています。委員の皆様は率直な意見を聞かせていただいて、根室市の子育て支援事業計画になるようにご協力いただければと思います。

(委員) ニーズ調査について、保育所分については保育所から配布となりそれ以外は郵送となっているが、それには何か意図があるのか。幼稚園は、なぜ配布しないのか。

事務局 保育所については、市の方で入所児童を把握しているので保育所からの配布となります。幼稚園児童を市で把握していないため、郵送としています。

(委員) 幼稚園分については幼稚園から配布するようにできないのか。幼稚園としてニーズ調査の記入方法など保護者の相談にのることもでき回収率を上げることに協力することができる。

事務局 その方法も考えたのですが、どの児童が幼稚園や保育所に入っているか区別する場合において、保育所については市で把握していますが、幼稚園については、市で把握していませんので各家庭に直接配布することとなります。回収につきましては、三ツ木委員の言われた回収率を上げる呼びかけをお願いしたいと考えています。

(委員) ニーズ調査の中で、子育てを支援してくれるような組織などの要望を書ける項目は、入っているのか。市として、ニーズ調査を踏まえてその内容をどこまで取り組んでいくことができるのかを論議していくことになるのか。

事務局 項目については、入っています。指針の中で、子ども・子育て支援事業の量の見込みの部分がありますので、これは、ニーズ調査

を基に見込みを立てるということになります。これについては、放課後児童健全育成事業、一時預かり、子育て相談所にも関わりがありますが、地域子育て拠点事業についてもニーズ調査でくみ取ることになります。

(委員) ニーズ調査の回収率を高めることが重要となってくるので、市として回収率を高めるような取り組みをお願いしたい。

以 上